

授業概要

人間関係に関する心理学の理論や現象について講義する。具体的には、集団と個人間、または個人間の関係性、人間関係に関わる個人内の認知についてチームワークやリーダーシップの観点から幅広く解説を行う。講義全体でアクティブラーニングを取り入れる。各テーマは2回から4回の講義セクションと1回のディスカッションセクションで構成される。講義セクションでは、資料を配布しスライドを投影した講義形式で実施するが、適宜短時間のディスカッションも行う。ディスカッションセクションでは小班に分かれて各テーマに関わる社会的課題についての問題提起とその解決案を提案してもらう。各テーマで小レポートを執筆し、半期の最後に全体を総括した最終レポートを提出してもらう。講義全体として、意見の構築、表明、伝達を通して人間関係における心理学的特徴の理解を深める講義である。

授業計画

第 1 回	授業の進め方、履修上の注意についての説明、
第 2 回	人が集団を形成する意義、集団・群集とチームの違い、チームワークについて
第 3 回	ホーソン工場実験と動機付け
第 4 回	1-3 回の授業についてのディスカッション
第 5 回	チームワークに影響する要因①：凝集性
第 6 回	チームワークに影響する要因②：集団規範
第 7 回	チームワークに影響する要因③：集団間葛藤
第 8 回	チームワークに影響する要因④：社会的手抜き
第 9 回	5-8 回の授業についてのディスカッション
第 10 回	リーダーシップ①：リーダーシップ特性論、効果的リーダーシップスタイル
第 11 回	リーダーシップ②：リーダー行動パターンアプローチ、PM 理論
第 12 回	リーダーシップ③：状況即応理論、変革型リーダーシップ理論
第 13 回	10-12 回の授業についてディスカッション
第 14 回	精神的不調とストレス対処方略
第 15 回	対人関係上のストレスの解釈
第 16 回	期末レポート課題を実施

到達目標

- 人間関係上の心理的特徴を理解できる
- 人間関係上の心理的知識を活用できる
- 人間関係上の心理的知識に基づいた問題解決ができる

履修上の注意

- 得られた知識を運用することに重きを置く。またディスカッションの際は小班に分かれる。そのため、私用での欠席は認めない。
- 積極的に履修者同士での討論を行うため、能動的な授業参加を求める。
- ディスカッション回に欠席した場合にはその回のレポート提出権を失う。
- やむを得ない場合の遅刻、欠席は考慮するので必ず申し出ること。
- 遅刻2回で欠席1回とする。遅刻は最終評定から減点する。
- 欠席が4回を超えた場合には単位を取得できない。
- 授業の内容は適宜変更する可能性がある。

予習・復習

授業計画に記載されている用語について調べて概要を掴んでおくこと
配布資料の復習を行うこと。学んだことを日常生活に落とし込んで考えること。

評価方法

ディスカッション後の小レポート 60% (20%×3回)、期末レポート 40%で評価する。

テキスト

テキストは指定しない。授業では資料を配布する。